

# 令和8年度予算案のEBPM「ヤングケアラー相互ネットワーク形成推進事業」

## 課題データ

- ヤングケアラーは、家庭内のデリケートな問題であることなどから表面化しにくい構造。福祉、介護、医療、学校等、関係機関におけるヤングケアラーに関する研修等は十分でなく、地方自治体での現状把握も不十分。
- ヤングケアラーの社会的認知度が低く、支援が必要な子どもがいても、子ども自身や周囲の大人が気付くことができない。



## 事業

### ヤングケアラー相互ネットワーク形成推進事業

令和8年度当初予算案：11百万円

表面化しにくいヤングケアラーの孤独・孤立を 방지、継続した相談・支援体制を構築するため、民間団体等で全国規模のイベントやシンポジウム等を開催し、地域ごとの当事者、支援者同士の相互交流を促すことにより、ヤングケアラーの相互ネットワークの形成を図る。

- 実施主体：法人（公募により選定）
- 補助率：定額（10/10相当）



※アウトプット、アウトカムの（ ）内は直近の実績値

## EBPM指標

### アウトプット

ヤングケアラー同士の交流会等における参加者数  
**2026年度 120人**（217人）

### 短期 アウトカム

ヤングケアラー同士の交流会等における参加者の満足度  
**2026年度 80%**（90%）

### 中期 アウトカム

—

### 長期 アウトカム

自治体間のネットワークの構築  
**2034年度 12地域**

## 目標

子ども・若者の権利保障と  
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべての子ども・若者の  
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と  
その実現を阻む隘路の打破

子ども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み